

ちょっといい山 2019/3/9/SAT

揖保川源流の山・銅山 953.7m

山の虫クレマントクラブ（略称 YMCC） 川原健一
同行：川原 薫

前の週に引き続き穴粟 50 名山を登る。今回は揖保川源流を踏み、鉢伏・氷ノ山を望む稜線から穴粟 50 名山 No28 の銅山へ。

山崎インターから北上すること 30 数キロ。倉床の集落の先、天然水「ふれあいの水」汲み場を左手に見て少し行った分岐を左に取る。舗装のない林道がどこまでも続くようだが、荒れ果てて車を入れられなくなり、富士野の集落まで引き返し、広場に停める。

川沿いに登山口Pまで 1.6km ほど歩く。林道沿いは清流で、溪流釣りができるようだが魚影はない。

登山口Pは広場となっていて、車高の高い車ならここまで来られる。さらに続く林道を 2km ほど歩くと、やがて植林の中に登山道は入って行く。冷ややかな薄暗い沢沿いの杣道然としたところを歩いていくと、やがて目の前が開け、空が見えてきた。流れはないが、ここが揖保川支流・倉床川の源流、と源流探検隊とやらが建てた標識がある。瀬戸内海までここから 68km とのこと。

源流からわずかに歩くと大路峠 700m に着いた。とたんに稜線の向こうから吹いていた寒風にさらされる。そんなに強い風ではないので問題はない。

ここから稜線歩きが始まるが、若干の急登が 150m。落ち葉で歩きにくい

ところもあるが、しっかりと踏みしめれば斜面に足が決まる。857m のピークに登ると勾配が落ちる。



揖保川源流の標識

ピークから続く山頂への道は緩やかで冬枯れの木々の間からの眺めが良い。夏は緑で眺めは遮られるか！？ところどころ雪がある。



稜線からの眺め

山頂に近づくにつれて雪は多くなり、頂は雪の中であった。数枚の写真を撮

り、もう少し眺めの良いところで昼食にするべく先に進む。

鉢伏山、氷ノ山は相変わらず木々の間から望めるが、綺麗に展望の開けるところはなく、ついに下山が始まる峠まで至る。やや開けているのでここで昼食とする。

下山は杉の植林の中を歩く。荒廃した林道を時折辿る。快調に下るとやがて下界の林道に降り立った。

帰り道、先週は休館であった「まほろばの湯」に再度立ち寄る。畳敷きの浴場と明るい露天風呂でゆっくりと汗を流し帰路に就いた。

【コースタイム】

	富士の集落P	10:49
	林道広場登山口	11:15
12:07	大路峠	
12:57	銅山山頂	
13:24	展望峠	13:53
14:27	下界林道	
15:07	P	

■コース概念図（今回は逆コースを歩いた）

